



三越桐生店

江戸時代から連綿と続く「越後屋」の系譜 織都の歴史を共に紡いだ百貨店のパイオニア

明治37年（1904）に日本初の「デパートメントストア」を宣言し、百貨店業界を牽引し続けてきた三越。その誰もが知る「丸越」の店章も誇らしく、重伝建地区の玄関口にスタイリッシュな佇まいを見せるのが、(株)三越伊勢丹が展開する地域密着型のサテライト店舗、三越桐生店だ。

桐生における三越の歴史は、江戸時代の享保年間（1716～1736）にまで遡る。三井高利が延宝元年（1673）に創業した、三越のルーツである呉服店「越後屋」が、この時代に桐生・新町の玉上甚左衛門家を絹買宿に指定したことが記録されており、織維産地・桐生と三越の関係は、実に300年にも及ぶ。

明治期以降は桐生出張所として織物仕入れのほか産地の情勢把握や機業家の指導監督なども担い、桐生の産業発展にも寄与。昭和62年（1987）、ギフト用品などを中心に揃えた現店舗へと生まれ変わり、今に至る。吹き抜け構造の開放的な店内には、洗練されたファッション雑貨や選りすぐりの食品など、日常に彩りを添

える上質な品々が豊富に並ぶ。気品に満ちた三越の商品は、贈答用はもちろん、日用品としても重宝し、桐生周辺地域はもとより遠方からの観光客も足を止めて訪れるなど、幅広く根強い支持を集める。季節に合わせたフェアや特産品の限定販売なども精力的に企画され、明るい店内でゆったりと商品に触れつつショッピングを楽しむのも醍醐味だ。

「三越への愛着を持って来店されるお客様が特に多い」という桐生店。織都に息づく百貨店の雄は、これからも桐生地域の人々をつなぎ、それぞれの笑顔のもとに華がひらく。

〈参考文献〉

・川嶋伸行（2022）
『桐生を指した百貨店
桐生の歴史調査報告』



【三越桐生店】

- 住所／桐生市本町2-7-2
- 電話／0277-22-0354
- 営業時間／10：00～18：00 ●定休日／月曜日
- HP／<https://www.isetan.mistore.jp/common/ministore/kantou.html>
- @mitsukoshi_satellite